



第52回 奈良県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

競技注意事項

1 競技規則について

本大会は、2019年 公益財団法人 日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習について

(1) 練習の時間帯は下記の通り。

| | 本競技場 |
|----------|------------|
| 8月13日(火) | 8:00～ 9:00 |
| 14日(水) | 8:00～ 9:00 |
| 15日(木) | 8:00～ 9:00 |

※ 本競技場の練習は競技運営の準備を並行して行うので注意すること。

(2) 本競技場での練習において、芝生内は全面立入禁止。

(3) 本競技場での練習は、トラック種目・跳躍種目とする。競技場備え付けの用具を使用すること。ゴムチューブ等を使用してのスピード練習は全面禁止とする。

(4) 投てき練習(メディシンボール練習も含む)は、競技場内外を問わず一切禁止する。

(5) レーンの使用については以下の通り。

1～2レーン：中長距離・競歩 3～6レーン：短距離(リレー練習含む) 7～8レーン：ハードル

(6) 練習会場では、事前に注意事項を確認し遵守するとともに、必ず競技役員の指示に従うこと。

3 招集について

(1) 招集所は、雨天練習場に設ける。出入りについては、選手出入口通路を使用すること。

(2) 招集開始時刻・完了時刻はプログラムの競技日程欄に記載されている。

(3) 携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器は招集所内に持ち込まないこと。

(4) 招集の手順

① 競技者は、招集開始時刻には招集所で待機し、競技者係の点呼を受ける。その際、ナンバーカード・スパイク等の点検を受ける。トラック種目出場者で、腰ナンバーカードが競技者係から配布された場合、右腰のやや後方につけること。

② 代理人による招集の点呼は認めない。ただし、2種目以上にわたって同時刻に出場する競技者は、最初の種目の招集開始時刻までに所定の「多種目同時出場届」を招集所へ提出すること。(用紙は招集所に準備) その場合に限り、招集時刻の点呼に代理人を認める。

(5) 招集完了時刻に遅れた競技者は、出場する意志がないものとして処理する。

(6) リレー種目について

① 「オーダー用紙」は、各ラウンドともその種目の第1組目の招集完了時刻の1時間前までに招集所へ提出すること。オーダー用紙はプログラム巻末の所定の用紙に、上下とも記入のうえ招集所へ提出し、控えを受けとること。オーダー用紙の提出がない場合は、当該種目を欠場するものとみなし処理する。

② 出場メンバー全員が点呼を受けること。ただし、他種目に出場している場合は、上記(4)②に準ずる。

③ ユニフォームは、同型・同色を原則とする。

(7) やむなく欠場する場合は、招集開始時刻までに「欠場届」を招集所に提出すること。用紙は、プログラム巻末の所定の用紙を使用すること。

4 競技進行について

(1) 番組編成及びラウンドの通過について

① トラック競技の予選のレーン順、フィールド競技の試技順は、プログラム記載左側に示された番号順とする。なお、トラック競技の決勝進出者及びレーン順については、番組編成員が競技規則に従い公平に抽選して決定し、招集所及びメインスタンド外掲示板で発表する。

② トラック競技における次の決勝への進出者について

(ア) 決勝進出者を決めるとき、その最下位で同タイム(1/100単位)が出た場合、写真を拡大して1/1000秒単位で優劣の判定をする。

・レーンに余裕がある場合 同タイム(1/1000秒単位)の選手の出場を認める。

・レーンに余裕がない場合 本人または代理人により抽選する。

(ウ) オープンレーンを使用する種目(800m含む)は、同タイム(1/1000秒単位)の競技者は、全員次のラウンドに進める。



第52回 奈良県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

(2) 競技について

- ① 当該種目出場者以外は競技エリア内に立ち入ることができない。
 - ② スパイクのピンは11本以内、9mm以下のものを使用すること。ただし、走高跳・やり投については12mm以下とする。
 - ③ ナンバーカードは配布された大きさのままでユニフォームの胸部と背部につけること。ただし、跳躍競技に出場する選手は、胸部または背部だけでもよい。
 - ④ 不正スタートについては、一度の不正スタートでもその責任を有する競技者は失格とする。(競技規則162条7、8、国内ルールを適用)
 - ⑤ 男子5000m、女子3000m、男女5000m競歩はグループスタートで行う。
 - ⑥ 競技運営上の理由により、男子5000mは、スタート後 20 分、男女5000m競歩は、スタート後 35分で競技終了とする。
 - ⑦ トラック競技の短距離種目では、競技者の安全確保のためフィニッシュ後も自分のレーン(曲走路)を走ることに。
 - ⑧ 競技エリア内に携帯電話、スマートフォン、タブレット等の機器を持ち込むことはできない。また、競技エリア内で助力を与えたり受けたりしている競技者は失格の対象となる。
 - ⑨ 競技場内での練習は競技役員の指示に従うこと。
- (3) 走高跳、棒高跳のバーの上げ方は下記のとおりとする。

| | | | |
|-------|------|---------------|--------------------------------------|
| 男子走高跳 | 1年 | 1m45・1m75 (練) | (競)1m50-1m55-1m60-1m65・・・以後3cmずつ上げる |
| | 2年 | 1m55・1m80 (練) | (競)1m60-1m65-1m70-1m75・・・以後3cmずつ上げる |
| 女子走高跳 | 1・2年 | 1m15・1m45 (練) | (競)1m20-1m25-1m30-1m35・・・以後3cmずつ上げる |
| 男子棒高跳 | 1年 | 2m40・3m50 (練) | (競)2m50-2m60-2m70-2m80・・・以後10cmずつ上げる |
| | 2年 | 3m60・4m40 (練) | (競)3m60-3m80-4m00-4m10・・・以後10cmずつ上げる |
| 女子棒高跳 | 1年 | 2m60・3m30 (練) | (競)2m70-2m80-2m90-3m00・・・以後10cmずつ上げる |

※ 1位決定のバーの上げ下げは、走高跳2cm、棒高跳5cmとする。

※ 近畿大会出場権獲得にかかわる走高跳・棒高跳の上位3名を決定する場合も同上とする。

(4) 男子走幅跳においては、

1年Aピット(試技順 No.1~13・スタンド側)と、Bピット(試技順 No.14~26・トラック側)の2ピットで行う。

2年Aピット(試技順 No.1~15・スタンド側)と、Bピット(試技順 No.16~30・トラック側)の2ピットで行う。

(5) 男子三段跳は、1年Aピット(スタンド側)、2年はBピット(トラック側)で行う。

(6) 三段跳の踏切板は、男子：11m00、女子：9m00に設置する。

(7) 円盤投・ハンマー投・やり投は、光波計測器を使用せず、ペグによる計測とする。(ショートロング)

※ 3位までの順位が決定しない場合は、順位決定戦を行う。(3投試技)

5 競技用具について

(1) 棒高跳用ポール・やり以外の競技用具は、競技場備え付けのものを使用する。

(2) やりは競技場備え付けのものを準備するが、検査を受けて自己の物を使用してもよい。その場合、出場競技者全員で共有できるものとする。検査時刻は、競技開始時刻の70分前~50分前までとし、100mスタート地点横の用器具庫で行う。

6 表彰について

(1) 決勝終了後、3位までの入賞者(リレーは6位まで)は表彰を行うので、成績発表後直ちに受賞者席(メインスタンド下中央口ビー)に集合すること。他種目に出場中の場合は、必ず表彰係に連絡のうえ代理人を出すこと。

(2) 表彰式では以下の表彰を行うので当該校(者)は必ず参加すること。

① 総合6位までに入賞した学校(男子総合、女子総合、学年別男子総合、学年別女子総合)

② 男女各総合優勝校の顧問・監督

7 その他

(1) 競技場の開門は、3日間とも8時00分とする。

(2) 記録は、メインスタンド外の記録掲示板に掲示する。

(3) 競技者の入退場は競技場の各ゲートから行き、みだりに競技場内(本部席前)の横断や通過はしないこと。

(4) 応援はスタンドで行い、競技場トラック周辺に降りて行わないこと。また、集団での発声や連呼応援は自粛すること(特にトラック競技のスタート直前は注意すること)。



第52回 奈良県高等学校ユース陸上競技対校選手権大会

- (5) 更衣室の使用は更衣のみとし、使用後はすみやかに退室すること。また、一切の私物を置いてはならない(盗難、置き引き防止のため)。なお、正面玄関からの出入りは禁止する。
- (6) 競技中に起こったケガについては、本部の医務室で応急処置のみ行う。
- (7) スタンド等使用した場所は、各校で責任を持って清掃し、ゴミは各校で持ち帰ること。駅・競技場周辺のごみ箱等には絶対放置しないこと(競技場内にごみ箱はありません)。
- (8) フィニッシュ後のスタート地点への移動等は、競技役員の指示する通路に従って移動すること。また、通行禁止や使用禁止の表示のある場合は、厳守すること。
- (9) 貴重品、荷物類は各自で管理し、盗難等に充分注意すること。
- (10) 個人情報の取り扱いに関して
 - ① 本大会に関して寄せられた個人情報は、本大会の目的以外に使用しない。
 - ② 参加申込書の提出により、上記①の取り扱いに承諾を得たものと見なし氏名・学校名・学年・記録を紹介し掲示板に掲載する。また、本大会が認めた報道機関にも公表する。入賞者は報道機関の取材を受けることがある。
 - ③ 本部が認めた報道機関が撮影した写真が、新聞・大会報告書・ホームページ等で公表されることがある。

表 彰 式

- | | | | |
|------|------------|---|------------------------------|
| 1 | 役員選手整列 | 4 | 表 彰 |
| 2 | 開 式 通 告 | 5 | 挨 拶 高体連陸上競技専門部 部長 江 藤 芳 彰 |
| 3 | 成 績 発 表 | 6 | 国旗・陸協旗・高体連旗降納 |
| | ┌ 1 年 1～6位 | 7 | 閉 式 通 告 |
| ○男 子 | ├ 2 年 1～6位 | 8 | 役員選手退場 |
| | └ 総 合 1～6位 | | |
| | ┌ 1 年 1～6位 | | |
| ○女 子 | ├ 2 年 1～6位 | | |
| | └ 総 合 1～6位 | | |
| | ○男子総合優勝監督 | | |
| | ○女子総合優勝監督 | | |